



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

とうきょう すくわくプログラム

ってなに？

「とうきょう すくわくプログラム」は、幼稚園や保育所において、
子供たちが好奇心や興味を持って、わくわくしながら遊び、
学べるよう応援する取り組みです。
取り組みを通じて、子供たちの自己肯定感や思いやりといった
豊かな心の育ちをサポートしていきます。



「あれ？」「なにかな？」



夢中になって遊び学ぶ



すべての乳幼児の
伸びる・育つ

×

わく
わく

好奇心・探究心

を応援する幼保共通のプログラム



楽しく、みんな一緒に！



とうきょう すくわくプログラム

はこちらからご覧いただけます。

とうきょう すくわくプログラムは、東京大学大学院教育学研究科附属発達保育実践政策学センター（CEDEP）との協定の下、東京都の「とうきょう すくわくプログラム推進事業」として策定したものです。



とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設名	ゆりのき保育園
施設所在地	多摩市永山4-6
法人名	社会福祉法人至愛協会

1. 活動のテーマ

<テーマ>

自然とのかかわり（自然物を「見て」「触って」「体験して」、自然に対して興味関心や気付きを深める。）

<テーマの設定理由>

広い園庭や近隣にある公園で、子どもたちは沢山の自然体験をしています。又、田植え・稲刈り・お芋掘りや各クラスの前にある畑で野菜を栽培するなどの収穫体験も行っています。子どもの自由な発想や視点から、「これは何?」「どうして?」の疑問について、体験を通して理解を深めていきました。

2. 活動スケジュール

4月「たけのこ掘り」：土の中に埋まっているたけのこを掘るのはとても大変でした。
5月「田植え」：グニャグニャの土の感触を楽しみながらお米の稲を植えました。
5月「夏野菜」：クラスの畑に夏野菜の苗を植えました。
7月「収穫」：水をあげて大切に育てた夏野菜が大きくなりました。
9月「稲の観察」：春に植えた稲が生長しているか観察に出掛けました。
10月「稲刈り」：緑色だった稲が黄金色に変わり、稲穂に沢山のお米が実りました。
11月「散策」：色付いた葉っぱや木の実を拾いました。どんぐりは色々な形がありました。
3月「土作り」：コンポストに野菜くずを入れて、栄養たっぷりの堆肥を作りました。
3月「大きな世界」：ルーペで見ると、いつもと違う不思議な世界を発見できました。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

土、野菜や花の苗・コンポスト、カメラ、ルーペ、iPad

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ①畑や園庭での野菜・花栽培では土作り→種や苗植え→水やり→収穫→クッキング
- ②収穫体験では田植え→生長の観察→稲刈り→脱穀→炊飯
- ③お散歩では草花や木の実を収集→製作 ※カメラやルーペを持って探索をしました。

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ①自分たちで植物を育てていることに意識を持ち、積極的に水やりをする姿が見られました。又、日々、生長していく様子をうれしそうに観察していました。自分たちが大きくなるには食べ物が大切であるように、植物が大きくなるにも土に栄養が必要であることに気づき、コンポストに野菜くずを入れて堆肥作りに発展しました。
- ②稲穂が膨らみ、黄金色に首を垂れるまでの稲の様子を定期的に観察しました。
- ③草花や木の実を収集して製作につなげたり、子どもがカメラやルーペをもって新しい発見探しに出掛けました。



土の感触を
楽しみなが
らの田植え



ルーペでい
つもと違う
世界を発見



クラスの畑
で力を合わ
せて作業中



コンポスト
でおいしい
土ができた

5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

今回のテーマを『自然との関わり』としましたが、日々の保育で当たり前のように行ってきた自然活動から、子どもたちは様々なことを感じ、考えて行動していることに気付かされました。特に野菜や田植えなどは収穫するだけではなく種や稲から育てたことにより、みんなで協力してお世話をし、生長していく様子をととても興味深く観察していました。作付け→収穫→食す過程に、子どもたちの喜びや心に動きがあることを改めて気付かされました。